



手をとりあって

【文責】

かとう学園 Co
高田 英也

今年の夏は予想を超えた暑い日が続き、コロナの感染も広がりを見せ、体調に気遣いながらの日々を過ごされたのではないのでしょうか。夏休み中は、河東コミュニティの宿題Day、池野コミュニティの二丁目小学校等で、子どもたちが地域でたくさんのことを学んだと思います。ご迷惑をおかけすることもあったかと思いますが、温かいお声かけやご指導をいただきありがとうございました。

まだまだ暑い日が続きそうですが、二学期は、小学校では、子ども大学・かとコミ農園での収穫、中学校では文化祭等、地域の方々とふれあう機会を大切にしたい教育活動を展開していく予定です。保護者の皆様、地域の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

かとう中学校はどんな学校？

～ドリカム講座 中学生徒会と6年生の交流～

9月5日(月)に、河東中生徒会役員と河東小・河東西小6年生が交流するドリカム講座を実施しました。この講座は、中学校生徒会役員の話聞き、6年生が抱えている中学校進学に対する不安を軽減し、意欲や希望をもつことができるようにすることを目的としています。生徒会役員が中学校の学習や生活について説明し、失敗を乗り越えて努力している体験を伝えてくれました。6年生は、中学校に入学するのは不安があったけれど、入学するのが楽しみになりましたと感想を話していました。



【河東中生徒会長の挨拶】

Return To Myself 「教わるから教えるへ」

～8年生 総合的な学習の時間～

9月8日(木)に、8年生(中2)が母校である河東小・河東西小を訪問し、スモール・ティーチャーとして一日体験をしました。

8年生は、小学校の先生の仕事や様子を知ることを通して、教えることについて学んだり、年齢の離れた小学生に対して教える活動を通して、教えることや伝えることの難しさ、わかってもらったときの喜びや楽しさを体験することができました。母校に帰り、成長した姿を見せることができました。



【中学生が小学生を指導している様子】

小中一貫コミュニティ・スクールを推進するために ～かとう学園夏季合同研修会～

夏季休業中に、かとう学園では、2日間夏季合同研修会を実施しました。

8月3日(水)は、人権教育・特別支援教育の研修を行いました。9:00より福岡教育事務所・中村指導主事を講師に、三校の教職員の実践的指導力並びに人権意識の向上を図る研修を行いました。10:40より福岡教育事務所・藤指導主事を講師に、特別支援教育についての理解、特別支援教育の指導性を発揮するための資質・能力の向上を図るための研修を行いました。

8月4日(木)は、コミュニティ・スクール推進校として、各学校の取り組みを共有するとともに、指導力の向上を目的とした研修を行いました。13:30より河東西小・堤主幹教諭より、かとう学園小中一貫コミュニティ・スクールの進捗状況について説明があり、今後の地域に開かれた教育課程作成についての方向性を全教職で共有することができました。14:00より宗像市教育委員会・名切指導主事を講師に、小中一貫コミュニティ・スクールに関わる生活科・総合的な学習の時間の指導についての研修を行いました。2日間の研修で、二学期に向けての小中一貫コミュニティ・スクールの教育活動について考えるいい機会になりました。



【福岡教育事務所・中村指導主事の講話】



【宗像市教育委員会・名切指導主事の講話】



夏休み中の地域での子どもたちの様子

今年は、行動制限のない夏休みになり、子どもたちにとっても楽しい夏休みになったのではないのでしょうか。39日間という長い期間、子どもたちは、地域での様々な行事などへ参加しました。夏休み中も地域の皆様には声をかけていただいたり、地域の行事でふれあったりしていただき様々つながり合いが実現しました。



【河東コミュニティ宿題Dayの様子】



【池野コミュニティ子ども講座の様子】